

中野区教育委員会会議録

平成29年第22回定例会

平成29年8月25日

中野区教育委員会

平成29年第22回中野区教育委員会定例会

○日時

平成29年8月25日（金曜日）

開会 午前10時00分

閉会 午前10時25分

○場所

中野区役所5階 教育委員会室

○出席委員

教育委員会教育長 田辺 裕子

教育委員会委員 小林 福太郎

教育委員会委員 伊藤 亜矢子

教育委員会委員 渡邊 仁

教育委員会委員 田中 英一

○出席職員

教育委員会事務局次長 横山 俊

教育委員会事務局副参事（子ども教育経営担当） 高橋 昭彦

教育委員会事務局副参事（学校再編担当） 板垣 淑子

教育委員会事務局副参事（学校教育担当） 石崎 公一

教育委員会事務局指導室長 杉山 勇

教育委員会事務局副参事（子ども教育施設担当） 石原 千鶴

○書記

教育委員会事務局教育委員会担当係長 金子 宏忠

教育委員会事務局教育委員会担当 立花 加奈子

○会議録署名委員

教育委員会教育長 田辺 裕子

教育委員会委員 田中 英一

○傍聴者数

5人

○議事日程

[報告事項]

(1) 教育長及び教育委員活動報告

① 8月4日 中野区立PTA連合会との懇談会

(2) 事務局報告

① 平成29年度海での体験事業の実施結果について（学校教育担当）

○議事経過

午前10時00分開会

田辺教育長

おはようございます。

定足数に達しましたので、教育委員会第22回定例会を開会いたします。

それでは、議事に入ります。

本日の会議録署名委員は、田中委員をお願いいたします。

<教育長及び委員活動報告>

田辺教育長

初めに、報告事項、教育長及び委員活動報告について、事務局から一括して報告をお願いします。

副参事（子ども教育経営担当）

8月4日に、中野区立中学校PTA連合会との懇談会がございまして、田辺教育長、小林委員、田中委員、渡邊委員が出席されました。

以上でございます。

田辺教育長

各委員から補足、質問、その他の活動報告がございましたら、お願いいたします。

田中委員

8月4日の中学校のPTA連合会との懇談会に参加させていただきました。

それぞれのPTAが地域の中で、いろいろな課題もあるのですが、何とか保護者と学校と地域とが密接につながるようにということで、いろいろな努力をされていることを伺って大変心強く思いました。

中野は、こういった地域の中でのそれぞれの学校の連携が非常に強いということが、子どもたちが非常に落ち着いて育っている大きな一因かなと感じました。

以上です。

田辺教育長

ほかにございますか。

小林委員

私も、今、田中委員と同じように中学校PTA連合会との懇談会に参加して非常に印象的だったのは、昨年もそうだったのですが、今度教科化される道徳に関して非常に興味関

心というか、期待を持たれていたということでありました。

やはり、これまで半世紀以上にわたって、ある意味では停滞をしていた道徳が、そういう意味では子どもたちのために、子どもたちのよりよい生き方を培っていくために、本来の狙いに従ってしっかりと定着するように、私たちもこういった立場で少しでも支援できたらなと改めて思った次第です。

以上です。

渡邊委員

私も、中学校PTA連合会との懇談会に出席させていただきました。今、小林委員がおっしゃられましたように、今回の懇談会のテーマとして道徳が挙げられました。

こういうふうには保護者が道徳に対して、今回新しく教科に入ってきたことに非常に注目しているということに、少し驚きを感じて、保護者は学校教育に関心が高いなということを確認できたと思っております。また、命の話についても少しお話できたかなと。

もう一つ、懇談会という言い方と、懇親会という言い方もあるかと思うのですが、PTAの全ての学校の会長さんが集合して教育委員とそういった形でお話し合っ、和気あいあいとお話をすることができました。対立的ではなくて、一緒に考えていく体制が我々の中にある、構築できているなという、中野区の教育委員会とPTAの関係がとてもいい関係で築き上げられているのではないかとということが改めて確認できて、とてもうれしく思っております。

以上です。

田辺教育長

ほかにございますか。よろしいですか。

<事務局報告>

田辺教育長

続いて、事務局報告に移ります。

事務局報告「平成29年度海での体験事業の実施結果について」の報告をお願いします。

副参事（学校教育担当）

それでは、私から「平成29年度海での体験事業の実施結果」についてご報告させていただきます。

実施状況です。実施場所につきましては、静岡県沼津市の大瀬海水浴場で実施いたしました。今年度の参加児童につきましては、208名です。その内訳ですが、5年生が142名、

6年生が66名となっております。なお、各クールの参加状況についてですが、今年度につきましては2泊3日を8クール行いました。クールごとに学校指定で行っております。そのクールごとの参加人数については、②のとおりでございます。お読み取りいただければと思っております。

続きまして、実際の内容についてでございます。右側の写真をごらんください。まず、1日目の午後、一番最初に水慣れと各児童の泳力を把握するためのプログラムを用意してございます。初めて海で泳ぐという子どももいるものですから、プールとは違う感覚の泳力ということで、クロール、平泳ぎ、犬かき、何でもいいので泳いでみてくださいということで、それぞれ泳がせて、この泳力をもとに海での活動班というものを決定してございます。

また、その後、生存泳法講習ということで、実際海に行ったときにどういうふうになるのかというところで、自力でも浮くことを体験していただきます。また、物を使うともっと浮きやすいというところで、この下の写真の右側はランドセルを使って浮くという体験もしていただいています。このほか、写真にはありませんが、ペットボトルを使って浮くということもプログラムの中に入れてございます。

ページをおめくりください。1日目の夜は、ナイトプログラムというところで実際にこの大瀬という海にはどんな生物がいるか、また、その生物の中には赤エイでありますとかウツボ、ヒョウモンダコのような危険なものもいままので、それらの海の生物について学びました。また、次の日、磯観察をするのですけれども、磯観察をするときにはどんなものが見られるかということを説明しています。このときには、児童からも盛んに質問等ありまして、かなり興味を持っているという印象を受けました。

次に2日目です。2日目につきましては、ライフセービング講習を行いました。左側、下の写真については、心肺蘇生法というところで人工呼吸を行っている様子です。また、右の上の写真につきましては、チューブを使った水難救助というところで、子どもたち2人1組になりまして、片方が溺れている役、もう1人のほうが救助する役という役割をしてやってございます。自然というものの知識、また、もしこういう水難に遭った場合に二次被害に遭わないように、物を使って安全に救助できる方法というものを実践してまいりました。このほか、ボードを使った救助なんていうのも体験していただいております。

また、ライフセービング講習の後には、磯観察ということで、前日のナイトプログラムで学習した海での生物が実際にいるかということも観察しています。石をどけると底から

カニが出てきたりということで、大変興味深く集中して、暑い中でしたけれども一生懸命生物を観察していた様子がとても印象的でした。

ページをおめくりください。2日目の午後には、スノーケリング講習とスタンドアップパドルボートの体験を行いました。左側につきましては、スノーケリングです。ウェットスーツ、ライフジャケット等を着用しまして、安全にスノーケリングができる態勢で体験を行っています。足のひれをつけて歩くところからなかなか難しいので、「バックで海に入ると歩きやすいよ」なんていうところから教えています。

また、下の写真につきましては、実際に子どもたちが安全にスノーケリングをやっている様子です。この海につきましては、かなり浅いところから生物が見られるので、子どもたちが海の中の魚とかを一生懸命観察している様子でございます。

また、今年から始めたプログラムとして、右側のスタンドアップパドルボートというものを体験しました。最初はぐらぐらして乗れなかった子どもたちが、最後には上に1人でしっかり乗ってこいでいる様子なんかもうかがえます。また、1人ではなく3人でこのボートをこぐという体験もしています。1人ではなくてみんなで力を合わせて3人でボートをこぐということも行いました。不安定なボートの中で四苦八苦しなながら、子どもたちが最後には達成感を味わえるという体験ができたのではないかと考えてございます。

ページをおめくりください。2日目の夜につきましては、ナイトプログラムというところで、もう早くも2日目の夜で最終日の夜でございます。花火をやりながら子どもたちの親睦を深めるとともに、下はその日に習ったスノーケリングでありますとか、SUPのポイントなんかを各自復習しながらそれぞれノートにまとめておりました。

次に、最終日、3日目です。この日は午前中で帰京になりますので、最後の海ということで子どもたちが積極的にスノーケリングを行ったりしている様子です。基本的には、自由に何でもやっつけていいよということですがけれども、数に限りがあつて、スノーケリングでありますとかSUPというものについては子どもはかなり興味を持って、最後の海を名残惜しそうに楽しんでいる様子がありました。

このようなプログラムを2泊3日で行ってまいりまして、1人のけが人もなく、無事に終了することができました。来年度につきましても、今年度始めた学校単位の事業がより魅力的に子どもたちにとっても本当にいい経験ができるものとなるように、この事業の拡大も含めまして引き続き教育委員会の中で検討して、来年度につなげていこうと考えてございます。

簡単ですが、以上で今年度の「海での体験事業の実施結果について」のご報告を終了させていただきます。

田辺教育長

本報告につきまして、質問等ご発言がありましたら、お願いいたします。

田中委員

最近の子どもたちはプールで泳ぐ機会が多いので、こういうふうに行き行って体験するというのはすごく大きな貴重な経験になると思うので、大変いい事業だなと感じました。

今回は結構長い期間になりましたけれども、天候的には、進める上で何か困ったような事態は特になかったのでしょうか。

副参事（学校教育担当）

ことし8月に入ってからかなり長雨だったのですが、7月のこの事業期間中は本当に天候に恵まれて、全てのプログラムが実施できました。

田辺教育長

ほかにございますか。

渡邊委員

これが始まってから毎年大瀬に行っていたのですが、今年も行けなくてとても残念に思っております。

いろいろと少しずつ年を追うごとにスキルアップしていて、環境も内容も充実していると感じました。こういった学校外での活動に関しては、私としては非常に賛成なことだと思っております。

ただ、この課外活動、事故がなかったということは一番何よりでしたけれども、今回全校対象にして、予定の人数としては1回当たり大体平均して20人前後で、極めて同じ数ぐらいになったなと思っはいるのですが、人数は最初は何人ぐらいを予定していたのでしょうか。

副参事（学校教育担当）

全体として1クール40人で、大体320人ぐらいが予定としては受け入れられるのではないかと行いました。

渡邊委員

確かに40人だと大変なのではないかということで、20数人で非常に内容的によかったのではないかなとは思っているのですが、やはり対象が40人を見込んでいて、約5割から6割ぐ

らいしか参加できなかったということで、来年度に向けて参加できなかった理由とか、もし何かあったら教えていただきたいのですけれども。

副参事（学校教育担当）

この参加人数の内訳の中でも、やはり5年生、6年生の中で5年生が圧倒的に多いということもあります。6年生の忙しさ等も含めまして、あと、事業がなかなか浸透しない部分もあります。今回の体験をより広めていただいて、これで学校等では体験できないものがこの事業で体験できるという魅力を一層周知することで、この事業を盛り上げていきたいと思っております。

渡邊委員

最後にもう1点だけですが、今回参加された生徒、また保護者からのいただいた簡単な感想とかは何かございましたか。

副参事（学校教育担当）

参加者の皆様からは大変好評を得ております。本当にスノーケリングやSUP等、通常では体験できないような体験ができたこととか、学校とは違った環境の中で友達との新しい関係ができたという、事務局としてはうれしい意見をいただいているところでございます。

渡邊委員

今回の他校と3校合同でやったということは、またこれは大きなことで、やはり学校の中というか、ほかの学校とのつながりということも、ぜひ今後も大切にしていきたいと思っております。どうもありがとうございました。

田辺教育長

ほかにございますか。

伊藤委員

参加のことも含めてなのですが、現在5、6年生なのですが、例えば実施をしていらっしゃるスタッフの方とか児童とか保護者の声とか、また同行されている先生方のご意見、いずれでも構わないのですが、4年生でも行けるのではないかとか、あるいはやはり5年生、6年生であることでこういうことができるのではないかとか、その辺りのこういう経験の蓄積ということで何かお感じのこととかご存じのことがあったら教えていただければと思っておりました。

副参事（学校教育担当）

やはり、海の事業であるというところから、教育委員会としては安全性というものを一番重視しなければいけないかなと思ってございます。3年生、4年生ですとかなり泳力に差があるので、安全性を考えて事業を実施する上においては5、6年生でこのプログラム。また、対象年齢を下げることによるとプログラムの見直し等も必要になってくるかと思っております。そこら辺を総合的に考えまして、参加しやすさ等も含めて、実施体制については考えていきたいと思っております。

田辺教育長

よろしいですか。

伊藤委員

現場でやってみての感じとして、やはりこれは6年生でないと無理だなとか、あるいは4年生でも大丈夫かなとか、その辺りはいかがですか。

副参事（学校教育担当）

やはり泳力であるとか、海はかなり先に行くと足がつかないところも出てまいりますので、そういった意味から安全性を考えると対象を5、6年生とする方が、実施する側にとって、安心してできるというのはあるという声もいただいております。

伊藤委員

ありがとうございます。

田辺教育長

よろしいですか。ほかにございますか。

小林委員

今の報告を伺って、ちょっと感想を含めてお話をさせていただくと、やはり毎年この体験事業については、このところ報告をいただいていたわけなのですが、今回こういう機材を使ってビジュアル的にこのように報告をいただきまして、よりイメージがわいてくると言いますか、かなり内容的にも生存泳法とか、いわゆるライフセービング全般に関して、また、スノーケリングの体験とか、または磯観察というのはどちらかという和学校教育でいえば理科的な学習であったりとか、それからナイトプログラムですと特別活動の手法であったりとか。非常に盛りだくさんでこういう形で報告をいただくと、例えば保護者の方も、またはもちろん子どもたち自身も行って楽しかった、またはよかった、充実していた、参加できなかった場合には参加してみたかったなという気持ちになると思うのです。私はこういうのをいろいろな意味でどんどん広報していくとか、広めていくことが大事か

など思っているのです。

これはあくまでも一委員としての感想なのですけれども、東京オリンピック以来、学校教育は当たり前のように各学校にプールがあって、そして指導していると。プールのできる時期というのは非常に短くて、財政面から言ったら非常にロスの多い施設ではないかなと私は思っているのです。またはその期間に集中して水泳指導をしていくとか、教育課程もなかなか組むのも大変だったりとか。

今、新しい学習指導要領の中で、いわゆるカリキュラムマネジメントと言われて、教科領域等を超えて新たな教育を進めていくためにどうしたらいいのだろうかということ考えたときに、今までの枠の中でどういうふうにしていくのか、必ずしも学校全校にプールが必要なのかとか。それから、いわゆる野外活動、長期休業を活用して、こうした今、学校教育でやっているような水泳指導も含めた様々な指導について教員の負担を考えた場合には、こういった形でいろいろ委託しながらやっていくとか。教育の内容もそうですし、実施形態もそうですし、今後の学校教育または教育全体をどうしていくかという上で、非常に示唆に富む内容になっていると思うのです。そこに1回行けば、体育的な側面だけではなくて、今、申し上げたように理科的な側面もあるし、恐らく社会的な側面もあるし、特別活動だけでなく日常生活をともにするわけですから道徳教育の体験的な活動とのリンクなんかもできるわけです。

ですから、そういう目で教員も少しこういったものを見直していく。ただ単純にこういうのをやりましょうというのではなくて、こういうものをどう活用していくかとか、そういう契機になる貴重な一つの実践ではないかなと思うのです。

もちろん、実施するに当たってはいろいろな考え方があって、当然、安全を第一に考えなければいけないとか、いろいろ今、伊藤委員が言われたように対象学年ももっとフレキシブルに考えていくことも大事だと思いますし、やはり、今後学校教育をどうしていくかという点では、非常に示唆に富む内容ですので、ぜひ、もちろんおやりになると思うのですけれども、校長会とか、またいろいろな機会に、こういうものを実施したということをどんどん広めていただければなと思いました。

以上です。

田辺教育長

そのほかに、本報告についてよろしいですか。

それでは、本報告については終了させていただきます。

その他、事務局から報告事項はございますか。

指導室長

それでは、この夏季休業日中に全国大会と関東大会に出場して活躍した生徒がおりましたので、その報告をさせていただきます。

まず1名ですが、水泳の全国大会に参加し、活躍した生徒がおります。学校は第二中学校です。生徒の氏名は、第三学年、木下笑碧さんとなります。

今回、第57回全国中学校水泳競技大会が、鹿児島県鹿児島市で開かれまして、そこに自由形100メートルで参加いたしました。この大会につきましては、予選はタイムレースとなっておりまして、上位8名が決勝に進出するということだったのですが、惜しくも22位ということで予選まで参加した形にはなっておりますが、タイム的には十分決勝を狙える成績をおさめられる生徒でした。また、更なる活躍を期待したいと思っています。

もう1名は、卓球の関東大会に出場いたしました。こちらは、第45回関東中学校卓球大会でございます。埼玉県越谷市で開催されました。名前は、中野中学校、第三学年、福田晴菜さんです。個人戦に出場いたしまして、120名くらい参加しているのですけれども、1回戦勝ち上がりまして、2回戦で惜しくも敗れてしまいました。ベスト64ということで、こちらも更なる活躍を期待したいと思っております。

報告は以上です。

田辺教育長

ただいまの報告につきまして、ご質問等はございますでしょうか。よろしいですか。

それでは、事務局報告は終了させていただきます。

事務局から、次回の開催についての報告をお願いします。

副参事（子ども教育経営担当）

次回の開催でございますが、9月1日金曜日、10時から、当教育委員会室にて開催を予定してございます。

以上でございます。

田辺教育長

以上で、本日の日程は全て終了しました。

これをもちまして、教育委員会第22回定例会を閉じます。ありがとうございました。

午前10時25分開会